

活用編

もくじ

もくじ.....	1
本書をお読みにする前に	3
1章 パソコンの機能を活用する.....	4
1 外部ディスプレイを接続する	4
1 USB Type-C™コネクタに接続する／取りはずす	4
2 表示を切り替える.....	6
2 サウンド.....	7
1 スピーカーの音量を調整する.....	7
2 ヘッドセットやヘッドホンを接続する	8
3 microSDメモリカードを使う	10
1 使えるmicroSDメモリカードについて	10
2 microSDメモリカードをセットする／取り出す	10
4 USB対応機器を使う.....	14
1 USB対応機器を取り付ける／取りはずす	15
5 LAN機能を使う	16
1 無線LANで接続する	16
6 Bluetooth®機能を使う	19
1 Bluetooth対応機器と接続する	20
7 ホームページを見る	21
1 ホームページを閲覧しよう.....	21
8 メール機能を使う.....	22
1 Windowsのメール機能について.....	22
9 便利な機能	24

1	バッテリーを長持ちさせる	24
2	ディスプレイの消費電力をおさえる	24
2章	認証機能を設定する	25
1	システムパスワードを設定する	25
1	スーパーバイザーパスワード/ユーザーパスワードを設定する	27
2	パスワード入力時の注意	31
2	Microsoft アカウントのパスワードやPIN、またはWindowsパスワード	32
1	Windowsパスワードについて	32
2	PINについて	33
3章	ワイヤレスWAN通信の設定	34
1	ワイヤレスWAN通信について	34
2	ワイヤレスWAN通信を行うには	35
1	nanoSIMカードを使う場合	35
2	eSIMを使う場合	39
3	無線通信機能を有効にする	41
4	インターネットに接続する	43
5	インターネットAPNの設定方法	44
3	通信ができないときは	45
4	ワイヤレスWAN通信に関する注意	46
5	ワイヤレスWAN通信を使用しなくなった場合	47
6	比吸収率 (Body SAR) について	48

本書をお読みになる前に

本製品を安全に正しく使うために、次のマニュアルもあわせてお読みください。
マニュアルの内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

参照先	編名称	内容
付属の冊子および 『オンラインマニュアル』 または当社ホームページ 「dynabook.com」	安心してお使い いただくために	本製品を使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項について説明しています。 * 本製品を使用する前に、必ずお読みください。
『オンラインマニュアル』 または当社ホームページ 「dynabook.com」	取扱説明書	各部名称や接続方法、電源の入れかた／切りかたなど、本製品の基本的な使用方法について説明しています。本製品を初期状態に戻す方法やサポート情報についても説明しています。

1章 パソコンの機能を活用する

パソコン本体に用意されている、さまざまな機能について説明しています。

1 外部ディスプレイを接続する

1 USB Type-C™コネクタに接続する／取りはずす

* パソコン本体のUSB Type-C™コネクタは、USB3.2 (Gen1) Type-Cコネクタを指します。

Memo

- 接続するケーブルは、外部ディスプレイに付属または市販の映像出力に対応したUSB Type-C™ケーブルを使用してください。
 - 表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。
 - 外部ディスプレイへの出力形式の設定は変更できます。
- 参照** [「表示を切り替える \(6ページ\)」](#)
- 著作権保護された映像などを外部ディスプレイに表示するためには、HDCPに対応した外部ディスプレイを接続してください。

1 接続する

1. 外部ディスプレイのケーブルのプラグを、外部ディスプレイのUSB Type-C™コネクタに差し込む
2. 外部ディスプレイの電源を入れる
3. 外部ディスプレイのケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のUSB Type-C™コネクタに差し込む

パソコン本体のUSB Type-C™コネクタの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

■ 音声の出力をパソコン本体のスピーカーから外部ディスプレイなどに切り替える



USB Type-C™ケーブルで外部ディスプレイを接続すると、自動的に音声の出力先が外部ディスプレイに切り替わります。

外部ディスプレイを接続しても音声切り替わらない場合は、次の設定を行ってください。

Memo

- 手動で音声の切り替えを行う場合、あらかじめ表示方法を [複製]、[拡張]、[セカンドスクリーンのみ] のいずれかに設定しておく必要があります。

参照 [「表示を切り替える \(6ページ\)」](#)

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [設定] をクリックする
3. [システム] → [サウンド] をクリックする
4. [サウンドの詳細設定] をクリックする
5. [再生] タブで外部ディスプレイのアイコン () がある項目を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックする
6. [OK] ボタンをクリックする

この設定を行うと、パソコン本体から音声出力されなくなります。外部ディスプレイを取りはずし、パソコン本体からの音声出力に戻す場合は、手順5で [スピーカー] を選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックしてください。

2 | 取りはずす

USB Type-C™コネクタから外部ディスプレイのケーブルのプラグを抜く

2 表示を切り替える

* 表示装置は「本体ディスプレイ、外部ディスプレイ」を示します。

[FN]キーを押したまま **[F5]**キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。



(表示例)

[FN]キーを押したまま **[F5]**キーを数回押し、目的の項目を選択すると、表示装置が切り替わります。

項目	概要
PC画面のみ	本体ディスプレイだけに表示します。
複製	本体ディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置それぞれに、同じ内容を表示します。
拡張	本体ディスプレイと、外部ディスプレイの2つの表示装置を、1つの画面として表示します。
セカンドスクリーンのみ	外部ディスプレイだけに表示します (本体ディスプレイには何も表示されません)。

Memo

- 外部ディスプレイと本体ディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数／解像度で表示されます。
- 表示を切り替えたとき、システムによって自動的に解像度を変更される場合があります。
- 外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。
- 映像を再生するアプリケーションを起動しているときは、表示装置を切り替えしないでください。なお、ご使用の環境やアプリケーションにより複製表示、拡張表示での再生はサポートしていません。
- USB Type-C™コネクタに接続した外部ディスプレイと、パソコン本体のディスプレイに映像を同時表示できない場合があります。
- 省電力の設定により外部ディスプレイの表示が消えた場合は、キーかタッチパネル、あるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。スリープに移行した場合は、電源スイッチを押してください。表示が復帰するまで10秒前後かかることがあります。故障ではありません。

2 サウンド

1 スピーカーの音量を調整する

スピーカーの音量は、次の方法で調整できます。


音量はWindowsで制御しているため、Windows起動時や電源を切っているときは、音量変更はできません。



1 **FN** + **F10** または **FN** + **F11** キーで調整する

1. 音量を小さくしたいときは **FN** + **F10** キー、大きくしたいときは **FN** + **F11** キーを押す

FN キーを押したまま **F10** キーを押すたびに音量が小さくなり、**FN** キーを押したまま **F11** キーを押すたびに音量が大きくなります。

2 音量ミキサーから調整する

1. 通知領域の  アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [音量ミキサーを開く] をクリックする

通知領域に  アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタン () → [設定] → [システム] → [サウンド] → [音量ミキサー] をクリックしてください。
[音量ミキサー] 画面が表示されます。

2. 各項目でつまみを左右にドラッグして調整する

 をクリックすると消音 (ミュート) になります。

ボリューム	本製品のスピーカー／ヘッドセットやヘッドホンの音量を調整します。
システム音	Windowsのプログラムイベント (メッセージの表示、システムエラーなどの動作) で再生されるサウンド設定の音量を調整します。

Memo ● キャプチャソフトなどを使用して、パソコンで再生中の音声を録音することはできません。

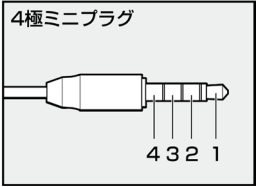
Memo ● スピーカーの音量は、タブレット右側面にある音量ボタン (音量大 (+)、音量小 (-) ボタン) でも調整できます。

2 ヘッドセットやヘッドホンを接続する

1 使用できる端子の種類

マイク入力/ヘッドホン出力端子で使用できる端子の種類は次のとおりです。

参照▶ パソコン本体のマイク入力/ヘッドホン出力端子の位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

	<ul style="list-style-type: none">● プラグは直径3.5mm4極ミニプラグタイプが使用できます。● 左図の数字は、次の内容を示します。<ul style="list-style-type: none">1：ヘッドホン左2：ヘッドホン右3：グラウンド（マイク）4：マイク（グラウンド）● 3ピンと4ピンのグラウンドとマイクは、本製品が自動識別します。● マイク機能のみ、ヘッドホン機能のみを使用する場合、設定の変更を行う必要があります。 <p>参照▶ 「マイク/ヘッドホンを選択する (9ページ)」</p>
	<ul style="list-style-type: none">● プラグは直径3.5mm3極ミニプラグタイプが使用できます。● ヘッドホンが使用できます。● 設定の変更を行う必要があります。 <p>参照▶ 「マイク/ヘッドホンを選択する (9ページ)」</p>

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクを使用してください。

すべてのマイク、ヘッドセット、ヘッドホンに対応するものではありません。

2 | マイク／ヘッドホンを選択する

ご使用のマイク／ヘッドホンを選択します。

1. マイクまたはヘッドホンを接続する

2. 「Realtek Audio Console」を起動する

- ① タスクバーにある検索ボックスに「Realtek Audio Console」と入力する
- ② 検索結果に表示される「Realtek Audio Console」をクリックする

3. 画面左側の「デバイス詳細設定」をクリックする

4. の横にあるプルダウンメニューからデバイスを選択する

5. 「閉じる」ボタン (X) をクリックする

3 microSDメモリカードを使う

本製品ではmicroSDメモリカードをカードトレイにセットして、データの読み出しや書き込みができます。

1 使えるmicroSDメモリカードについて

● microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）*1*2

*1 すべての記録メディアの動作を保証するものではありません。

*2 microSDIOカードには対応していません。

Memo

● 新品のmicroSDメモリカードは、microSDメモリカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。

フォーマットとは、microSDメモリカードを使えるようにすることです。

フォーマットされていないものを購入した場合や再フォーマットをする場合は、microSDメモリカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。

2 microSDメモリカードをセットする／取り出す

⚠警告

● microSDメモリカードを取りはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

お願い microSDメモリカードの使用にあたって

● あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 microSDメモリカードを使うにあたって『取扱説明書 付録 2 記録メディアについて』

● microSDメモリカードのセット／取りはずしを行う際は、キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上に本製品を置いて作業を行ってください。

● microSDメモリカードのセット／取りはずしを行う際は、あらかじめデータを保存し、本製品の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
データ消失、故障のおそれがあります。

● カードトレイを本製品にセットする際は、無理な力を加えず、慎重に行ってください。
本製品の動作が不安定になったり、microSDメモリカード、カードトレイが破損するおそれがあります。

● microSDメモリカードのIC部分（金色の部分）には触れないでください。静電気により、データ消失、故障のおそれがあります。

1 セットする

⚠注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

1. データを保存し、**[SHIFT]**キーを押しながら**[シャットダウン]**をクリックして電源を切る

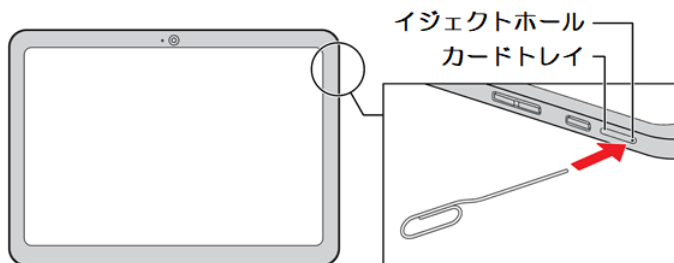
参照 ▶ タブレットのみで使用する場合のシャットダウン手順『取扱説明書 1章 パソコンの取り扱い 4 電源を切る／再起動／スリープ』

2. 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類、キーボードドックを本製品から取りはずす

参照 ▶ キーボードドックを取りはずす『取扱説明書 1章 2 キーボードドックの取り付け／取りはずし』

3. ディスプレイ（タブレット部分）を上側に向ける

4. カードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す

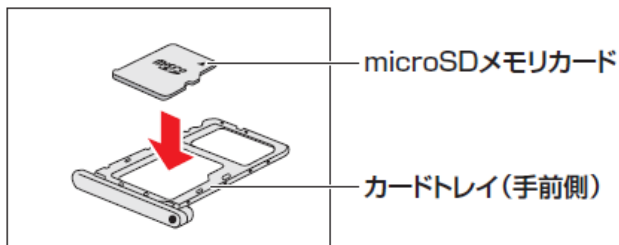


カードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

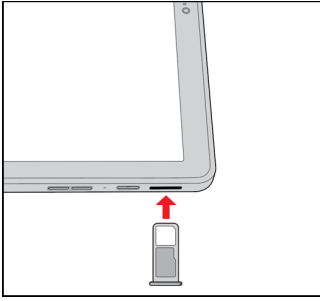
5. カードトレイ（手前側）にmicroSDメモリカードをセットする

IC部分（金色の部分）を下に向け、カードトレイ（手前側）にセットしてください。microSDメモリカードは、前後や表裏を確認してください。イラストと異なる向きでセットしないでください。

- お願い** ● カードトレイ（奥側）は、nanoSIMカード用です。
必ず手前側を使用してください。




- ⑥. microSDメモリカードがカードトレイに正しくセットされていることを確認して、カードトレイをゆっくり差し込む



2 | セットしたカードの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

著作権保護されたファイルについては見ることができない場合があります。

1. タスクバーの [エクスプローラー] ボタン () をクリックする

「エクスプローラー」が起動します。

2. カードのアイコンを選択する

以下の名称は表示の一例です。異なる名称が表示される場合があります。

microSDメモリカード : リムーバブルディスク、セキュリティで保護された記憶域デバイス、SD Card、SD

セットしたmicroSDメモリカードの内容が表示されます。

Memo

- microSDメモリカードによっては、本製品にセットすると、自動的に内容が表示されたり、microSDメモリカードに対する操作を選択するメッセージが表示される場合があります。次のように操作してください。

- ①メッセージをクリックする



(表示例)

- ② [フォルダーを開いてファイルを表示] を選択する



(表示例)

3 | 取り出す

microSDメモ리카ードに保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。

ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1. データを保存し、**SHIFT**キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る

参照 ▶ タブレットのみで使用する場合のシャットダウン手順『取扱説明書 1章 パソコンの取り扱い 4 電源を切る／再起動／スリープ』

2. 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類、キーボードドックを本製品から取りはずす

参照 ▶ キーボードドックを取りはずす『取扱説明書 1章 2 キーボードドックの取り付け／取りはずし』

3. ディスプレイ（タブレット部分）を上側に向ける

4. カードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す

カードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

5. microSDメモ리카ードを取り出す

6. カードトレイをゆっくり差し込む

4 USB対応機器を使う

USB（ユーエスビー）対応機器は、電源を入れたまま取り付け／取りはずしができます。また、初めて接続する周辺機器を認識すると、システムがドライバーの有無をチェックし、自動的にインストールを行うプラグアンドプレイに対応しています。

USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

お願い USB対応機器の操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて『取扱説明書 付録 1 ご使用にあたってのお願い』

参照▶ USB対応機器の操作にあたって『取扱説明書 付録 1 ご使用にあたってのお願い』

- タブレット状態で、USBコネクタに接続すると本製品が傾くようなUSB対応機器の場合は注意して使用してください。本製品のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。

Memo

- キーボードドック接続した状態でパソコンに取りつけるUSB対応機器が重たい場合や、接続したUSBケーブルを引っ張ったりした場合は、パソコンが倒れるおそれがあります。

USB Type-Aコネクタについて

USB Type-Aコネクタには、USB3.2（Gen1）／USB3.1（Gen1）／USB3.0／USB2.0／USB1.1対応機器を取り付けることができます。

USB Type-C™コネクタについて

USB Type-C™コネクタには、USB3.2（Gen1）／USB3.1（Gen1）／USB3.0／USB2.0／USB1.1対応機器を取り付けることができます。

■ USBケーブルについて

市販のUSB対応機器を接続する場合は、パソコン本体に接続する側のプラグが、USB Type-C™のものを使用してください。もし、USB Type-C™ではない場合は、USB Type-C™変換アダプターなどが必要です。

参照▶ USB対応機器の詳細『USB対応機器に付属している説明書』

1 USB対応機器を取り付ける／取りはずす

1 取り付ける

1. USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

参照▶ USB対応機器の詳細について『USB対応機器に付属している説明書』

2. USBケーブルのもう一方のプラグを、パソコン本体のUSBコネクタに差し込む

プラグの向きを確認して差し込んでください。


参照▶ パソコン本体のUSBコネクタの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』


2 取りはずす

USBフラッシュメモリやUSB接続のハードディスク／SSDなど、記憶装置のUSB対応機器を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ずシステム上で使用停止の手順を行ってください。

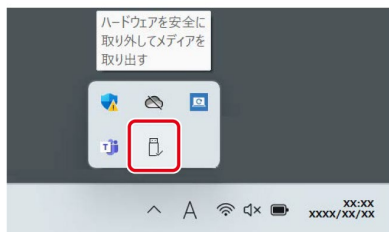
USB対応機器に保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取りはずしができません。ファイルやウィンドウを閉じてから、操作を行ってください。

1. USB対応機器の使用を停止する

①通知領域の [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] アイコン () をクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、  をクリックしてください。

この操作を行ってもアイコンが表示されないUSB対応機器は、手順2に進んでください。



(表示例)




②表示されたメニューから [(取りはずすUSB対応機器) の取り出し] をクリックする
「ハードウェアの取り外し」のメッセージが表示されます。

2. パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルのプラグを抜く

5 LAN機能を使う

1 無線LANで接続する

⚠警告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の  または  アイコンをクリックする
 - ② [機内モード] をクリックして、オンに切り替える
オンになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 無線LANの操作にあたって

- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANの無線周波数帯をBluetooth®と異なる無線周波数帯に設定して使用してください。

- 『取扱説明書』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。無線LANを使用する場合は記述をよく読んで、セキュリティの設定を行ってください。

参照 ▶ デイリーケアとアフターケア 『取扱説明書 4章 サポート関連のご案内』

1 無線LANの設定を行う前に

無線LANの設定を行う前に、次の操作を行ってください。

1. 無線LANアクセスポイントの設定を確認する


無線LANアクセスポイントに設定されている、次の項目を確認してください。メーカーによっては、無線LANアクセスポイント本体に貼ってあるラベルに記載されています。


SSID	ワイヤレスネットワークの名称です。
セキュリティキー	ワイヤレスネットワークの通信情報を暗号化するときのキーです。



参照 ▶ 『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』


2. 無線LANアクセスポイントの電源を入れる

3. パソコンの電源を入れ、パソコン本体の無線通信機能をONにする

機内モードがオン（通知領域に  が表示）の場合は、機内モードをオフにしてください。

- ①通知領域の  をクリックする
- ② [機内モード] をクリックして、オフに切り替える


機内モードオフ（通知領域には  または  が表示）：無線通信機能ON

機内モードオン（通知領域には  が表示）：無線通信機能OFF

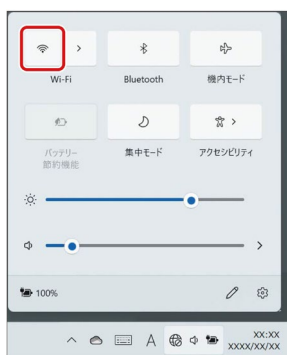
2 無線LANの設定方法

無線LANアクセスポイントを選択して接続します。

1. 通知領域の または アイコンをクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックして確認してください。

2. [Wi-Fi] がOFF（アイコンに色が付いていない）の場合は をクリックする



（表示例）

[Wi-Fi] がONになると、アイコンに色が付きます。

3. の右側の、 をクリックする



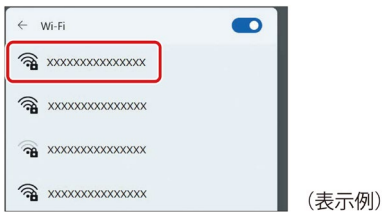
（表示例）

パソコンの周囲にあるワイヤレスネットワーク（無線LANアクセスポイント）のSSIDの一覧が表示されます。

以前接続したことがあるワイヤレスネットワークのセキュリティ情報がパソコンに記憶されている場合は、自動的に接続されます。

4. 接続するワイヤレスネットワークをクリックする

環境によっては、近隣で使用されているワイヤレスネットワークのSSIDが表示される場合があります。必ず目的のワイヤレスネットワークを選択してください。



5. [自動的に接続] をチェックし①、[接続] ボタンをクリックする②



6. ネットワークセキュリティキーを入力して①、[次へ] ボタンをクリックする②



以降は、画面の指示に従って操作してください。

選択する項目、データ暗号化の方式、セキュリティキーなどは、正しく設定してください。

正しく設定していない場合、無線LANアクセスポイントに接続できない場合があります。




参照 『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。

参照 無線LANの設定の詳細について『プロバイダーまたは回線事業者から送られてくる資料』、『無線LANアクセスポイントに付属している説明書』

6 Bluetooth[®]機能を使う

⚠ 警告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の  または  アイコンをクリックする
 - ② [機内モード] をクリックして、オンに切り替える
オンになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

Memo


- Bluetooth[®]のバージョンによっては本製品と通信できないBluetooth[®]対応機器があります。
- 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。


1 Bluetooth®対応機器と接続する



1. Bluetooth®対応機器の電源を入れ、Bluetooth®機能をONにする

参照▶ Bluetooth®対応機器の操作方法の詳細『Bluetooth®対応機器に付属している説明書』


2. パソコン本体の無線通信機能をONにする

機内モードがオン（通知領域に  が表示）の場合は、機内モードをオフにしてください。

- ① 通知領域の  をクリックする
- ② [機内モード] をクリックして、オフに切り替える


機内モードオフ（通知領域には  または  が表示）

：無線通信機能ON

機内モードオン（通知領域には  が表示）

：無線通信機能OFF

3. Bluetooth®対応機器を設定する

- ① [スタート] ボタン () をクリックする
- ② [設定] をクリックする
- ③ [Bluetoothとデバイス] をクリックする
[Bluetoothとデバイス] 画面が表示されます。
- ④ [Bluetooth] を [オン] に設定する
[オン] にすると、パソコン本体のBluetooth®機能がONになります。
- ⑤ [デバイスの追加] をクリックする
以降は、画面の指示に従って設定してください。

7 ホームページを見る

ホームページの閲覧方法について説明しています。

1 ホームページを閲覧しよう

ホームページを見るために必要なアプリケーションのことを、「ブラウザ」と呼びます。本製品では、「Microsoft Edge (マイクロソフトエッジ)」というブラウザを使用します。ホームページのことを、「Webページ」や「Webサイト」と呼ぶこともあります。

特定のホームページを見たいときは、おもに次の方法で行います。

- ホームページを検索する
キーワードを入力してホームページを検索します。
該当した候補の中から見たいホームページを選択します。
- URLを入力する
URLとは、インターネット上にあるホームページの場所を特定する情報です。
- URLを入力すると、見たいホームページが直接表示されます。



1 Microsoft Edgeを使用する

起動方法

1. タスクバーの [Microsoft Edge] ボタン (🌐) をクリックする
「Microsoft Edge」が起動します。

8 メール機能を使う

本製品のメール機能について説明します。



■メール機能を使うためのアプリケーション

本製品には、Windowsのメール機能であるOutlookや、モデルによりOutlook (classic) が用意されています。

■メールアドレスの取得について

メールを送信・受信するためには、メールアドレスが必要になります。

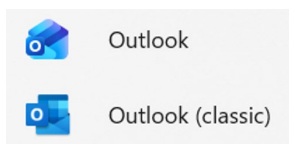
メールアドレスは、プロバイダーなどのメールサービスに申し込んで取得したり、無料のフリーメールアドレスを使用することができます。

1 Windowsのメール機能について

本製品には、Windowsのメール機能が用意されています。

Windows「標準」のメールソフトを利用する場合は、「Outlook」(Outlook for Windows) で設定してください。機種や環境により、Officeの「Outlook (classic)」でも、メールの機能がご利用いただけます。

以下は、アイコンの表示例です。



1 「Outlook」(Outlook for Windows)

起動方法

- ① タスクバーにある検索ボックスに「Outlook」と入力する
 - ② 検索結果に表示される「Outlook」をクリックする
- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

参照 お問い合わせ先『取扱説明書 4章 1 お問い合わせ先 (OS/アプリケーション) 』

Memo

- 「Outlook」(Outlook for Windows) の機能については、以下マイクロソフト社のホームページでもご紹介しています。

参照 『Windows 用の新しい Outlook の概要 - Microsoft サポート』

2 「Outlook (classic)」

Outlook (classic) は、予定表や連絡先などの管理を行うことができる、メールソフトの機能を持ったアプリケーションです。

起動するには、スタートメニューから「Outlook (classic)」を選択してください。

起動方法

- ① タスクバーにある検索ボックスに「Outlook (classic)」と入力する
- ② 検索結果に表示される「Outlook (classic)」をクリックする

Microsoft アカウントが表示されたら、接続してください。Outlook (classic) が起動します。以降は、画面の指示に従って操作してください。

Outlook (classic) についてのお問い合わせは、「Office」のお問い合わせ先までご連絡ください。

参照 ▶ お問い合わせ先『取扱説明書 4章 1 お問い合わせ先 (OS/アプリケーション)』

参照 ▶ Officeのセットアップ『準備編 1章 2 初めて電源を入れてWindowsセットアップが終了したら』

9 便利な機能

1 バッテリーを長持ちさせる

次の手順に従って「バッテリー充電モード」を設定することにより、バッテリーの充電量をおさえて、バッテリーの機能低下を遅らせることができます。

パソコンの電源コードとACアダプターを、コンセントに接続したまま使用される方におすすめです。

ただし、バッテリーの充電量が少なくなるため、バッテリーでの駆動時間は短くなります。

1 バッテリー充電モードを設定する

「dynabook サポートユーティリティ」の「バッテリー充電モード」で、「100%充電モード」以外を選択すると、バッテリーの機能低下を遅らせることができます。

起動方法

1. 「dynabook サポートユーティリティ」を起動する

- ① タスクバーにある検索ボックスに「dynabook サポートユーティリティ」と入力する
- ② 検索結果に表示される「dynabook サポートユーティリティ」をクリックする

2. [バッテリー充電モード] で、[100%充電モード] 以外に設定する

Memo

- モデルによっては、バッテリー充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

2 ディスプレイの消費電力をおさえる

本体ディスプレイに表示する映像のコントラストと明るさを自動的に調整することにより、パソコンの消費電力をおさえることができます。初期設定ではバッテリー駆動の場合に消費電力をおさえる設定ですが、電源コードとACアダプターを接続している場合でも、次の手順で設定できます。

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

3. [システム] → [ディスプレイ] をクリックする

4. [明るさ] をクリックする

5. [コンテンツに基づいて明るさを変更する] 画面にて、[バッテリー使用時のみ] を [常時] に変更する

2章 認証機能を設定する

本製品を使用するときの、さまざまな認証機能の設定方法について説明しています。

1 システムパスワードを設定する

システムパスワードには次のものがあります。

- **スーパーバイザーパスワード (BIOSパスワード)**
BIOSセットアップの設定を変更できないようにするなど、いくつかのパソコン本体の設定について制限をかけられます。スーパーバイザーが使用します。
- **ユーザーパスワード (BIOSパスワード)**
電源を入れるときや休止状態から復帰するとき、パスワードを入力しないと起動しません。

お願い

- パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種(型番)を確認後、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。パスワード解除の対応には、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要です。

Memo

- パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えてください。
- パスワードを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

パスワードに使用できる文字

スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードに使用できる文字は次のとおりです。
アルファベットの太文字と小文字は区別されません。

使用できる文字	アルファベット (半角)	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	数字 (半角)	0123456789
	記号の一部 (半角)	;,.,. (スペース) など
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・全角文字 (2バイト文字)・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ (全角/半角)、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号など・記号の一部 (半角) 【例】 (バーチカルライン) _ (アンダーバー) ¥ (エン) など・ほかのキー (SHIFT キーや CAPSLOCK 英数キーなど) と同時に使用しないと入力できない文字	

パスワード登録時に警告メッセージが表示された場合は、登録しようとした文字列に使用できない文字が含まれています。この場合、もう一度別の文字列を入力し直してください。警告が表示されない場合も、上記「使用できない文字」に該当する文字は使用しないでください。また文字列は必ずキーボードから1文字ずつ直接入力してください。

1 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードは、BIOSセットアップで設定します。

参照▶ BIOSセットアップの起動方法や操作方法について『BIOS編』

1 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの登録

Memo ● パスワードを登録した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を登録する場合

Memo ● スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードでは、違うパスワードを使用してください。

1. BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する

2. [Account's Password Status] を選択する

3. [Set Supervisor Password] の [Enter] を選択する

パスワードの入力画面が表示されます。

4. [Enter New Password] と [Confirm New Password] に同じスーパーバイザーパスワードを入力し、[OK] を押す

パスワードは、20文字以内で入力します。

参照▶ [パスワードに使用できる文字「パスワードに使用できる文字 \(26ページ\)」](#)

パスワードは1文字ごとに [*] (アスタリスク) で表示されますが、目のマークを選択すると入力したパスワードが表示されます。

パスワード入力をキャンセルする場合は [Cancel] を押します。

5. [Changes have been saved.] と表示されたら [OK] を押す

スーパーバイザーパスワードが登録されます。

6. [Set User Password] の [Enter] を選択する

パスワードの入力画面が表示されます。

7. [Enter New Password] と [Confirm New Password] に同じユーザーパスワードを入力し、[OK] を押す

パスワードの文字数や、パスワードに使用できる文字は、スーパーバイザーパスワードと同じです。

8. [Changes have been saved.] と表示されたら [OK] を押す

ユーザーパスワードが登録されます。

9. 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

スーパーバイザーパスワードのみを登録する場合

1. BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
2. [Account's Password Status] を選択する
3. [Set Supervisor Password] の [Enter] を選択する
パスワードの入力画面が表示されます。
4. [Enter New Password] と [Confirm New Password] に同じスーパーバイザーパスワードを入力し、[OK] を押す
パスワードは、20文字以内で入力します。
参照 [パスワードに使用できる文字「パスワードに使用できる文字 \(26ページ\)」](#)
パスワードは1文字ごとに [*] (アスタリスク) で表示されますが、目のマークを選択すると入力したパスワードが表示されます。
パスワード入力をキャンセルする場合は [Cancel] を押します。
5. [Changes have been saved.] と表示されたら [OK] を押す
スーパーバイザーパスワードが登録されます。
6. 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

ユーザーパスワードのみを登録する場合

1. BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
2. [Account's Password Status] を選択する
3. [Set user Password] の [Enter] を選択する
パスワードの入力画面が表示されます。
4. [Enter New Password] と [Confirm New Password] に同じユーザーパスワードを入力し、[OK] を押す
パスワードは、20文字以内で入力します。
参照 [パスワードに使用できる文字「パスワードに使用できる文字 \(26ページ\)」](#)
パスワードは1文字ごとに [*] (アスタリスク) で表示されますが、目のマークを選択すると入力したパスワードが表示されます。
パスワード入力をキャンセルする場合は [Cancel] を押します。
5. [Changes have been saved.] と表示されたら [OK] を押す
ユーザーパスワードが登録されます。
6. 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

2 | スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの変更

1. BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
2. スーパーバイザーパスワードの変更には [Set Supervisor Password] を、ユーザーパスワードの変更には [Set User Password] の[Enter]を選択する
パスワードの入力画面が表示されます。
3. [Enter Current Password] に登録済みのパスワードを入力し、[Enter New Password] と [Confirm New Password] に新しいパスワードを入力して [OK] を押す
[Enter New Password] と [Confirm New Password] には同じパスワードを入力します。
パスワード入力をキャンセルする場合は [Cancel] を押します。
4. [Changes have been saved.] と表示されたら [OK] を押す
パスワードが変更されます。
5. 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

Memo

- ユーザーパスワードでBIOSセットアップを起動した場合は、スーパーバイザーパスワードを変更できません。

3 スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードの削除

Memo ● スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを両方登録している場合は、スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも同時に削除されます。

1. BIOSセットアップを起動し、[Security] メニューを選択する
2. スーパーバイザーパスワードの削除には [Set Supervisor Password] を、ユーザーパスワードの削除には [Set User Password] を選択する
パスワードの入力画面が表示されます。
3. [Enter Current Password] に登録済みのパスワードを入力し、[Enter New Password] と [Confirm New Password] には何も入力しないで [OK] を押す
パスワードが削除されます。
4. 設定内容を保存して、BIOSセットアップを終了する

Memo ● ユーザーパスワードでBIOSセットアップを起動した場合は、スーパーバイザーパスワードを削除できません。

2 パスワード入力時の注意

スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードを入力するとき、続けて3回間違えると認証エラーとなり、自動的に電源が切れます。

この場合は、電源を入れ直して、再度パスワードを入力してください。

お願い

- パスワード入力画面で認証エラーが発生して電源が切れると、タイマー*¹、LAN*¹、USB*¹からの許可によるWake-upができませんので、電源を入れ直してください。
頻繁に認証エラーが発生し電源が切れるときは、スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードの設定を解除することをおすすめします。

*1 本機能を搭載しているモデルのみ

2 Microsoft アカウントのパスワードやPIN、 またはWindowsパスワード

Windowsにサインインするためのパスワード／暗証番号として、WindowsパスワードとPINが用意されています。

お願い ● Windowsパスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口に連絡してください。


Memo ● PINを忘れてしまったときは、Windowsパスワードでサインインしてください。
● WindowsパスワードやPINを登録した場合は、忘れたときのために必ずWindowsパスワードやPINを控えてください。
● WindowsパスワードやPINを入力するときは、コード入力や貼り付け（ペースト）などの操作は行わず、キーボードの文字キーを押して直接入力してください。

1 Windowsパスワードについて

Windowsにサインインするためのパスワードを、本マニュアルでは「Windowsパスワード」と呼びます。

管理者ユーザーのWindowsパスワードは、初めてパソコンを起動しWindowsセットアップを行う際に設定します。


Windowsパスワードの設定／変更方法

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [設定] をクリックする
3. [アカウント] → [サインイン オプション] → [パスワード] をクリックする
4. 画面の指示に従って、Windowsパスワードを設定／変更する

2 PINについて

Windowsパスワードの代わりに、PIN(暗証番号)を入力してWindowsにサインインできます。PINを設定するには、あらかじめ、Windowsパスワードの設定を行っておく必要があります。

PINの設定／変更方法

1. [スタート] ボタン () をクリックする
2. [設定] をクリックする
3. [アカウント] → [サインイン オプション] をクリックする
4. PINを設定／変更する
 - ① [PIN (Windows Hello)] をクリックする
 - ② 画面の指示に従って、PINを設定／変更する

3章 ワイヤレス WAN 通信の設定

* ワイヤレスWAN機能搭載モデルのみ

ワイヤレスWAN通信を行うための設定について説明しています。

1 ワイヤレスWAN通信について

ワイヤレスWAN通信は、ご契約された通信事業者のサービスエリア内で、LTE回線および3G回線がご使用いただけます。

1 ワイヤレスWAN技術基準適合について

本製品は、電波法に基づくW-CDMA方式携帯無線通信用陸上移動局、W-CDMA (HSDPA)方式携帯無線通信用陸上移動局、およびLTE用陸上移動局として、認証を受けております。本製品の内部の改造を行った場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

2 使用国について

- 本製品のワイヤレスWAN通信は、日本国内の無線規格を取得しています。nanoSIMカードおよびeSIMが海外でご利用になれるご契約内容でも、海外電波法に抵触するおそれがありますのでご注意ください。また、電波法に抵触しない場合でも、海外ローミングによる高額な通信費用がかかるおそれがあります。十分ご注意ください。

3 nanoSIMカードおよびeSIMについて

- 本製品でワイヤレスWAN通信をご使用になるには、LTE通信に対応したnanoSIMカードまたはeSIMの契約が必要です。改造したnanoSIMカードは、使用しないでください。

Memo

- サービスエリア、サービス内容やご利用料金などについては、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。
- 無線通信用アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所でもっとも良好に動作します。アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。

参照 無線通信用アンテナの位置『取扱説明書 1章 1 各部の名称』

- 本製品のワイヤレスWAN通信は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届きにくい場所のほか、屋外でもサービスエリア外および電波の弱い場所では使用できない場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であっても、使用できない場合があります。
- 電波が強く、電波状態の表示が良好で、移動せずに使用している場合でも、通信が切断する場合があります。

2 ワイヤレスWAN通信を行うには

1 nanoSIMカードを使う場合

ワイヤレスWAN通信を行う場合、本製品にnanoSIMカードをセットします。nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカード（SIMカード）です。

『nanoSIMカードに付属の説明書』もご確認ください。

⚠警告

- nanoSIMカードを取りはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

お願い

- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上に本製品を置いて作業を行ってください。
- nanoSIMカードのセット／取りはずしを行う際は、あらかじめデータを保存し、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。
データ消失、故障のおそれがあります。
- nanoSIMカードを本製品にセットする際は、無理な力を加えず、慎重に行ってください。
本製品の動作が不安定になったり、nanoSIMカードが破損するおそれがあります。
- nanoSIMカードのIC部分（金色の部分）には触れないでください。静電気により、データ消失、故障のおそれがあります。

Memo

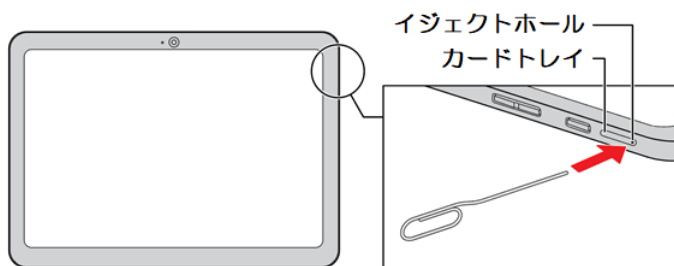
- nanoSIMカードの紛失、盗難、破損については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

nanoSIMカードをセットする

⚠注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをすることおそれがあります。

1. データを保存し、**[SHIFT]**キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る
2. 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類、キーボードドックを本製品から取りはずす
参照 ▶ タブレットからキーボードドックを取りはずす『取扱説明書 1章 パソコンの取り扱い』
3. ディスプレイ（タブレット部分）を上側に向ける
4. カードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す



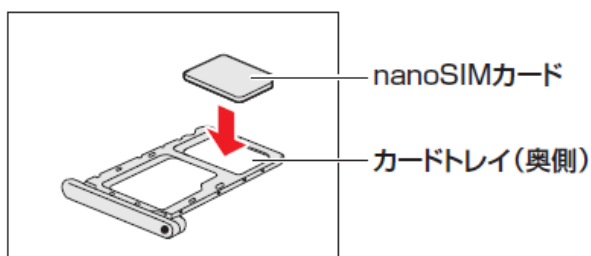
カードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

5. カードトレイ（奥側）にnanoSIMカードをセットする

IC部分（金色の部分）を下に向け、角が欠けている部分を奥にして、SIMカードトレイにセットしてください。

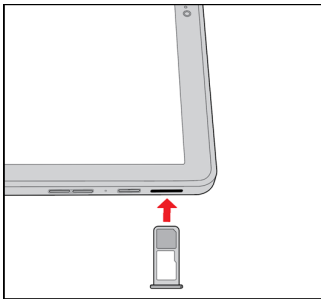
nanoSIMカードは、前後や表裏を確認してください。イラストと異なる向きでセットしないでください。

- お願い** ● カードトレイ（手前側）は、microSDメモ리카ード用です。
必ず奥側を使用してください。



⑥. nanoSIMカードがカードトレイに正しくセットされていることを確認して、カードトレイをゆっくり差し込む

nanoSIMカードが正しくセットされていないと、ワイヤレスWAN通信はできません。



2 nanoSIMカードを取り出す

1. データを保存し、**SHIFT**キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る

2. 電源コードとACアダプター、その他のケーブル類、キーボードドックを本製品から取りはずす

参照 ▶ タブレットからキーボードドックを取りはずす『取扱説明書 1章 パソコンの取り扱い』

3. ディスプレイ（タブレット部分）を上側に向ける

4. カードトレイのイジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押す

カードトレイが少し出てくるので、手で引き出します。

5. nanoSIMカードを取り出す

⑥. カードトレイをゆっくり差し込む

使用するSIMの設定を切り替える

eSIM対応モデルの場合、初期設定はeSIM（eSIMまたはSIM 2）になっていますので、nanoSIMカードを使う場合はnanoSIMカード（SIM 1）に切り替えてください。

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3. [ネットワークとインターネット] をクリックする

4. [携帯電話] をクリックする

5. 使用するSIMの設定を変更する

① [このSIMカードの携帯データネットワークを使う] を [SIM 1] に設定する



(表示例)

2 eSIMを使う場合

eSIMでワイヤレスWAN通信を行う場合は、次の手順を実行してください。
また、eSIMでワイヤレスWAN通信をご使用になるには、通信事業者とeSIMの契約が必要です。

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3. [ネットワークとインターネット] をクリックする

4. [携帯電話] をクリックする

5. 使用するSIMの設定を確認する

① [このSIMカードの携帯データネットワークを使う] が [eSIM] または [SIM 2] になっていることを確認する

[SIM 1] になっている場合は [eSIM] または [SIM 2] に設定する



(表示例)

6. 通信事業者から提供された方法でeSIMプロファイルをダウンロードする

① [携帯電話] の [その他の携帯ネットワーク設定] の下にある [eSIMプロファイル] を開く

② 通信事業者から提供された方法でeSIMプロファイルのダウンロードを行う

7. 設定画面からeSIMプロフィールの使用を開始する

- ① [携帯電話] の [その他の携帯ネットワーク設定] の下にある [eSIMプロフィール] を開く
- ② [携帯データネットワークのプロファイル] の下に表示される、ダウンロードしたeSIMプロフィールをクリックし、表示される [使用] ボタンをクリックする






- ③ eSIMプロフィール名の下に [アクティブ] と表示されることを確認する



3 無線通信機能を有効にする

ワイヤレスWAN通信を行う場合、無線通信機能をONに切り替えてください。

⚠ 警告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ①通知領域の  または  アイコンをクリックする
 - ② [機内モード] をクリックして、オンに切り替える
オンになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ・ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3. [ネットワークとインターネット] をクリックする

4. [機内モード] が [オフ] であることを確認する

① [機内モード] が [オン] になっている場合は、[オフ] にする

[機内モード] を [オフ] にすると、無線通信機能がONになります。

5. [携帯電話] を [オン] にする

① [携帯電話] を [オン] に設定する

[オフ] になっている場合は、[オン] にしてください。

[オン] にすると、ワイヤレスWAN機能がONになります。



(表示例)

以降の設定は、[「インターネットに接続する \(43ページ\)」](#)を参照してください。

4 インターネットに接続する

本製品におけるインターネット接続に関する設定を行います。

1 接続方法

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3. [ネットワークとインターネット] をクリックする

4. [携帯電話] をクリックする

[携帯電話] 画面に、ネットワーク名と電波状態が表示されます。

5. ネットワークに接続する

① ネットワーク名の下に表示されている [Windowsで接続を維持する] のオン/オフを、目的に応じて設定する

自動的に接続したい場合は、[Windowsで接続を維持する] を [オン] に設定してください。

自動的に接続したくない場合は、[オフ] に設定してください。



(表示例)

接続が完了すると、「接続済み」と表示されます。



(表示例)

2 接続の切断方法

[携帯電話] 画面で、[携帯データネットワーク] を [オフ] に設定してください。切断されることを確認してください。

3 接続設定の確認方法

[携帯電話] 画面で、[携帯電話会社の設定] をクリックしてください。設定内容を確認してください。

5 インターネットAPNの設定方法

インターネットAPNの設定方法について説明します。

1. [スタート] ボタン () をクリックする

2. [設定] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

3. [ネットワークとインターネット] をクリックする

4. [携帯電話] をクリックする

5. APN設定画面を表示する

① [携帯電話] 画面に表示されている [携帯電話会社の設定] をクリックする

② [APNを追加] をクリックする



(表示例)

6. APNを設定する

プロファイル名、APN、ユーザー名、パスワード、サインイン情報の種類、IPの種類、APNの種類を入力後に保存すると、APNの設定が保存されます。

Memo

- [APNの種類] には、[インターネットおよびアタッチ] を選択してください。
[インターネットおよびアタッチ]を選択できない場合は、[インターネット]を選択してください。



(表示例)

3 通信ができないときは

通信ができないときは、次のような流れで確認してください。



4 ワイヤレスWAN通信に関する注意

本製品について

本製品の取り扱い・設定などのご相談は、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にお問い合わせください。

ワイヤレスWAN通信の設定について

本製品のリカバリー（再セットアップ）を行った場合は、無線通信機能やインターネットのAPNに関する設定がご購入時の状態に戻ります。

本製品の修理時のご注意

- 修理の際にお客様からお預かりできるのは本製品のみです。
nanoSIMカードはお手元に大切に保管してください。
eSIM対応モデルの場合は、修理内容によりご契約された通信事業者と別途手続きが必要になる場合があります。事前に通信事業者にご確認ください。
- 修理期間中も、ご契約された通信事業者が提供する各種サービス料金は発生します。ご了承ください。

GPSについて

- GPS機能搭載モデルでは、GPSが使用できます。
- GPSや測定場所の状態により、現在地が表示できない可能性があります。現在地の情報は、端末側から位置情報を得ており、その情報の精度によって現在地が検出できない可能性があります。具体的には、以下のような場所や状態では、現在地がずれたり、検出できない可能性があります。
 - ・建物の中や直下
 - ・かばんや箱の中
 - ・密集した樹木の中
 - ・アンテナ前面部に障害物（人や物）がある場合
 - ・地下やトンネル、地中、水中
 - ・ビル街や住宅密集地
 - ・高圧線の近く
 - ・大雨、雪などの悪天

5 ワイヤレスWAN通信を使用しなくなった場合

廃棄／譲渡（売却を含む）などで本製品を使わなくなったとき、または本製品に搭載されているワイヤレスWAN通信を使用しなくなったときは、以下の対応が必要です。

1 nanoSIMカードを使用していた場合

nanoSIMカードの解約や返却が必要です。解約や返却については、ご契約された通信事業者へお問い合わせください。

2 eSIMを使用していた場合

eSIMプロファイルの削除が必要です。

お客様が通信事業者とeSIMの契約を行うと、契約者情報などを含むeSIMプロファイルが通信事業者から提供されます。

OSの機能によるPCリセットでは、このeSIMプロファイルは削除されますが、本製品を初期状態に戻した場合や、dynabook Maintenance Utilityを使ってハードディスクの内容の消去を行った場合は、eSIMプロファイルは削除されずそのままワイヤレスWAN通信モジュール内に保持されます。

本製品の廃棄、リサイクル等を行う場合はeSIMプロファイルの削除を行ってください。eSIMプロファイル削除後の該当契約の継続使用またはeSIMプロファイル再発行については事前にご契約の通信事業者にお問い合わせください。

(eSIMプロファイルの再発行時には通信事業者により手数料が発生する場合があります)

eSIMプロファイルの削除方法

1. [設定] - [ネットワークとインターネット] - [携帯電話] を開き、[その他の携帯ネットワーク設定] - [eSIMプロファイル] を開く
2. [その他のeSIM設定] の [eSIMのリセット] 内の [リセット] ボタンを押し、以降画面の指示に従う



6 比吸収率 (Body SAR) について

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*1および、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この製品に対するSARの許容値は2.0W/kg（手首から先を除く手足は4.0W/kg）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

ワイヤレスWAN機能を使用中は、この製品を身体（手首から先を除く）から5mm以上離して使用してください。このことにより、この製品は国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

- 世界保健機関（英文のみ）

<https://www.who.int>

*1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。